

職員History③ ～看護師編～

前号に続き、ここでは看護師4名の皆さんに綴っていただきました。



5年ほど急性期の病院で働いていましたが仕事と自分の時間との両立が難しく、違う分野で働きたいと思いびわこ学園に入職しました。

現在11年目になりますが、始めの5年間は第1病棟で重症度の高い利用者さんの看護を、その後5年間第2病棟で様々な発達年齢の方と関わらせていただきました。

びわこ学園で働きだした当初より多職種との相談や連携が気軽にできるため、とても働きやすい環境だと思っています。

これからも利用者さんやご家族の方に寄り添える看護を提供できるよう精進していきますので、よろしくお願いします。

(高岡 岳人・看護師11年目)  
びわこ学園医療福祉センター草津



びわこ学園に入職して10年が経ちました。学園に入職するまで10年程、病院で働いていましたが、入職当初は病院との違いに戸惑い、重心看護の難しさに悩むことが多くありました。そんな時、先輩看護師や生活支援員から、利用者の障害特性や上手く意思疎通できない利用者のケア、日々の関わりのポイントなどを学び、少しずつ重心看護に活かせるようになりました。

びわこ学園は病院機能をもった福祉施設です。10年前に比べると利用者は高齢化しており、医療度が上がっています。まだまだ未熟な私ですが、病院とは違う「生活の中の看護」を高いレベルで提供できるよう多職種で協力するとともに、自己研鑽もしていきたいと思っています。

びわこ学園は病院機能をもった福祉施設です。10年前に比べると利用者は高齢化しており、医療度が上がっています。まだまだ未熟な私ですが、病院とは違う「生活の中の看護」を高いレベルで提供できるよう多職種で協力するとともに、自己研鑽もしていきたいと思っています。

(橋口佐一郎・看護師11年目・看護係長)  
びわこ学園医療福祉センター野洲



「ちょこれーと。」に出会ってもう10年。「『ちょこれーと。』のおだにです」がとっても馴染んできました。

利用者さん、ご家族、スタッフに支えられ、いつの間にか訪問看護の魅力にどっぷりつかっていました。ご家族と一緒に利用者さんの成長・発達を見守らせていただけ、スタッフや関係機関の皆さんと共有・喜び合えることが、力の源になっています。

「利用者さんはどう思っているんやろ」原点がぶれないように、いつも立ち返りながら、利用者さん主体のケアを追求し、多職種チームで生活をサポートしていきたいです。

そして「いつもありがとうございます」を言葉に、感謝の気持ちを忘れずに、一つずついい毎日の関わりを大切にしていきたいです。

(小谷 英子・看護師11年目・看護係長)  
びわこ学園障害者支援センター  
・訪問看護ステーションちょこれーと。



はじめて福祉の世界に来て右も左もわからず緊張しているときに、助けてくれたのは利用者様でした。

「ぶっち、ぶっちー。」と呼んで下さる利用者様のおかげで「えがお」の仲間入りをさせていただけました。

日々、いろんなことの見方や考え方が変わったり気付かされたりすることは多く、利用者様が、スタッフの皆様が先生となり勉強させていただいております。

入職時に、「新しい10年の始まりです」と書いたのですが、半分経ちました。50歳を過ぎ白髪も増えましたが、気持ちはずっと新人です。まだまだ勉強は足りていません。

これからも湖北の利用者様といろんなことを知りながら過ごさせていただけたらと思っています。

(粕淵由美子・看護師6年目)  
びわこ学園障害者支援センター  
・重症心身障害者通所施設えがお